



料金別納

ゆうメール

和らぎながら、和らげながら、和らいでいる。

やはらぎ通信

YAWARAGI TSUSHIN

2018

9

September

Vol.04



猛暑と言われた今年の夏も過ぎて、過ごしやすい日も増えてきました。
きものが映える、紅葉や文化イベントが多い秋は、おでかけも楽しいですね。
やはらぎでは日本が世界に誇る職人の作品を多く展示しております。
目と心を楽しませに、是非おいでください。

9月 September

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
				茶道教室		
10	11	12	13	14	15	16
				きもの手入れキャンペーン		
				日本の匠～例屋高尾の世界～		
17	18	19	20	21	22	23
			吉澤暁子 着付け教室	茶道教室 江戸しぐさ	和の塾 江戸しぐさ	
24	25	26	27	28	29	30
				着付け教室	着付け教室	

10月 October

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1	2	3	4	5	6	7
	着付け教室	着付け教室			茶道教室	
8	9	10	11	12	13	14
	着付け教室	着付け教室				和の塾 能楽のイロハ
15	16	17	18	吉澤暁子 着付け教室	茶道教室	
	着付け教室	着付け教室				
22	23	24	25	26	27	28
	着付け教室	着付け教室				やまと紀行～野乃花染＆スカラ～ 大人のおしゃれ風
29	30	31				
	着付け教室					

やはらぎお稽古サロン「和の塾」。和美人 W-Takako に学ぶ日本文化。

9/22
土曜日

Kimono 美人になる Vol.3
心から美しく
江戸しぐさに学ぶ思いやり



「江戸しぐさ」に学ぶ、人への思いやり
約300年もの間平和が続いた江戸時代に
生まれた「江戸しぐさ」。人々がお互いに
気持ちよく暮らしていくための知恵であり
マナーです。
江戸しぐさ普及員・しぐさ美人認定講師で
ある木村隆子先生にお話を伺いながら、
美味しい食事とお抹茶を楽しみましょう。
Kimono 美人は、きものを着ればなれるつ
てもんじやありません！
立てば芍薬・座れば牡丹・歩く姿は百合の
花。美しいこころとしぐさを、この機会に
学んでみては。

講師：木村隆子 きむらたかこ

花グループ代表 紀州小町の会主宰
江戸しぐさ普及員 しぐさ美人認定講師
全日本着装コンサルタント協会認定講師
伝統色彩士協会
和のパーソナルカラー診断士
KICCA きものカラーコーディネーター協会
認定講師 FM 和歌山パーソナリティ

場所：四季の味 ちひろ
和歌山市吉田801
Tel 073-431-3939
会費：3,500円（ランチ・お茶代）
時間：11：30～14：30
定員：15名様

10/14
日曜日

Kimono 美人になる Vol.4
能楽のイロハ
アマチュア愛好家目線の能楽の楽しみ方



世界最古の舞台美術「能楽」
能楽は、日本の伝統芸能。
ユネスコが「人類の口承及び無形遺産の
傑作」と評した「世界無形文化遺産」です。
平安時代に成立した、現存する舞台芸術
の中では世界最古のもの。海外からも大
人気です。これを日本人の我々が「難し
そう」と敬遠してしまうのはもったいな
い！能楽は、つまりはミュージカル。観
劇のコツを掴めば難しいことはありませ
ん。初心者にもわかりやすく楽しい能
楽講座。ティータイムもあります。
ちょっとお能体験も…！

講師：阪本高子 さかもと たかこ

1971年生まれ
1991年 羽衣学園短期大学文学部国文専攻卒業
1994年 雅和装研究会 着付け講師認定
阪本高子着付け教室 開講
2011年 仕舞と謡の稽古を始める
シテ方宝生流能楽師
辰巳満次郎氏に師事

場所：ダイワロイネットホテル3F
サンクシェール
会費：2,000円（ケーキセット込み）
時間：14：30～16：30
定員：15名様



10月7日(日) 和歌の浦片男波公園野外ステージ 開場16:00 開演16:20

第1部：能楽ワークショップ／指導 小林慶三 前川光範
第2部：観世流能「紅葉狩（もみじがり）」片山九郎右衛門 他
和泉流狂言「蝸牛（かぎゅう）」野村萬斎 他

前売／一般 3,000円／学生 1,000円
当日／一般 3,500円／学生 1,500円
チケットは売り切れる場合ございます。雨天の場合健康館「アリーナ」にて開催しますが、立入りになる可能性もあります。未就学児童は無料になります。
出演者は都合により変更になることがあります。ご了承ください。

詳しくは <http://manyou-takiginoh.com> をご覧ください。

各教室・和の塾の詳細、

また日時が変更となる場合もございますので、
事前にお問い合わせください。

お問い合わせ
きものぎゃらりい和 TEL.073-433-3567

万葉新解
和の心を学んだら、きものでおでかけ。能楽の世界に触れてみましょう！

万葉時代からの歴史ある白砂青松の景観、そして夕陽百選に選ばれた片男波海岸の
美しい夕陽を背景に、貴重な伝統文化能と狂言を身近でご覧いただける「万葉能」。
子どもたちの仕舞と太鼓の発表から、10世片山九郎右衛門の観世流能「紅葉狩」。
野村萬斎の和泉流狂言「蝸牛」まで、大満足の文化イベント！

9/14

金曜日

9/16

日曜日

日本の匠 ～樹屋高尾の世界～



「時に耐える美しい織物」を生み出すという理念を創業の原点とする京都・西陣織の「樹屋高尾」。

代表作である「ねん金綴錦」は、「徳川美術館」の門外不出の宝物裂を復元してほしいとの依頼から生まれました。

それは見たこともない珍しい金の糸が絹糸に織り込まれた黄金に輝く袱紗。その美の再現のために、糸作りからはじめ、ルーツを求めるオリエントへ…試行錯誤の結果、完成した「ねん金糸」で見事に袱紗を再現し、真綿の糸に金箔を巻きつけて金の糸を作るねん金の技法を現代に昇華させました。糸の太さに差異のある手引き手法のため、1本の糸の中に輝く箔の部分、元の糸の色の部分、両方の色を持った部分と、違う表情が現れます。織られた作品は複雑な色合いを持ち、光に当たるとより一層色彩が鮮やかに輝きます。この味わい深い美しさを持つ織物は、皇室のお召し物や人間国宝の茂山千作翁の能衣装にも使用され、愛されています。

ねん金綴錦の帯は、驚くほど軽く・巻きやすく・締め心地が良く、何よりも着姿が美しい。針ねん金・金唐ねん金・渡来錦などの技法で表現されるのは、オリエント文化を感じさせる文様。新作は本漆の引箔の帯！

樹屋高尾・高尾弘氏と、弟である故健三氏は、日本画の琳派を愛しその美を表現してきました。現社長である朱子氏は伝統的な風景の中にオリエンタルでモダンな息遣いを表現しています。樹屋高尾作品の真髄をお楽しみ下さい。



最終日 16 日は 17:00 Close

同時開催

9/14

金曜日

9/15

土曜日

きものお手入れ キャンペーン

ご好評につき、今回も実施！「きものお手入れキャンペーン」。

期間中は、きものお手入れおすすめコースが30%OFF！

また京友禅伝統工芸士・土本豊彦氏が来店し「きもの・帯・悉皆なんでもQ&Aコーナー」を特設。お客様のご質問にお答えいたします。大切なお着物をお持ちください。お気に入りだったけど着られなくなった…そんなきもののサイズ直し、リメイク、染め直しのご相談も承ります。

土本 豊彦 氏 Kimono/Craft ツチモト

「職人一筋五十年 きものをお召し下さる方々のお役に立てる事がきもの職人の喜びです。」

1945年京都生まれ 伝統工芸士 各種賞受賞 染色技能講師歴任 和装コンシェルジュ活動



10/27

土曜日

10/29

月曜日

野乃花染工房～自然の草木・花を用いた伝統工芸染織工房～

美しい自然の色を求め、伝統の技を誇りとした「もの創り」をしています。

草木染の第一人者諫訪好風氏と、ご子息の諫訪豪一氏による手染めの作品が見どころの工房です。



自然の素材から色を抽出する草木染は、毎回色が異なります。時候、温度や浸ける時間も、染まっていく糸の色を見ながら判断します。

それはまさに職人技。

特に写真手前のような、鮮やかな緑色に染めるのは難しいそうです。

期間中は諫訪豪一氏も来店。

匠の技を知るまたとない機会です！



桜染

桜は本来、神聖なもので精霊が宿ると言われています。決して枝を切ることはありません。雪害で折れて落ちた枝を用います。桜染は花びらの色をいただきまます。ほんのりと赤みを帯びた美しい色が出るのは、花が咲く前の枝だそうです。「咲くことが叶わなかった桜の想いを染め」と豪一さん。桜に感謝し、色をいくしむるように染めるのです。



藍染

藍藻(あいがめ)上には神棚、そのわきには藍に飲ませる日本酒が置いてあります。このお酒は、「藍の機嫌が悪い時に飲ませる」もの。藍が弱っている時は水あめを舐めさせると、藍を染める前には「機嫌よく染めさせてください」と神棚に手をあわせさせてください」と豪一さん。藍の色は神様の贈り物なのです。



楢糸八寸帯

日本の三大古代布の一つに数えられています。シナノキの皮をはいで、細く裂いて糸にする。さらにそれを撚りをかけた糸にして織りあげていく。自然の織りなす色が、素朴な風合いを醸し出します。巻けば巻くほどなんじんで、貴女好みの風合いになる帯。希少価値のある、後世に残したい帯です。

最終日 29 日は 17:00 Close

同時
開催

10/27

土曜日

10/29

月曜日

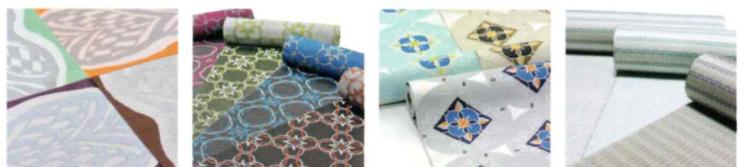
スカラ新作発表！大人のおしゃれ展 ～きくちいまの世界～

きもの好きさんに大人気のきくちいまさんの作品が、今年も「やはらぎ」にやってきます！モダンなおしゃれきものを楽しめる、ワクワクのひととき。

27、28日はきくちいまさんご本人が来店！



きくちいま VS 諫訪豪一
野乃花染工房作・
新作スカラも登場します。
ファン必見の展示会！



原始の葉

陽を浴びる葉のように、
のびのびと。

花七宝

軽やかにつながってゆく、
花の輪

四つ花唐草

まるく咲く、
幸福のモチーフ

松矢お召

凛として立つ

最終日 29 日は 17:00 Close

きものコンシェルジュ コラム

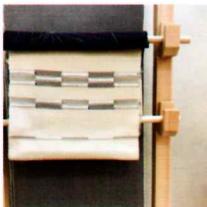
粋(いき)といえば「きっぷの良い人」を思い描きますが、質素儉約のおふれがでていた江戸時代は、縦縞・格子など地味ながらも技のきいた小紋などが好まれ、「四十八茶百鼠」といった茶色や鼠色をどう上手く着こなすかが江戸の粋(いき)とされていました。対して京。「京坂は男女ともに艶麗優美を専らとし、かねて粋(すい)を浴す…」というように、京では着こなしも身のこなしも優雅にはんなりとやるのが二枚目。「粋(すい)なお方!」というやつですね。つまり、江戸の「いき」は吐く息に通じ不要なものはため込まずさっぱり「引き算の美」。上方の「すい」は吸う息に通じ何でも取り入れる「足し算の美」。着物の好みもこれに通じるところがあるのかも。「関東風」「関西風」どちらがお好みでしょうか?

やはらぎおすすめ・お役立ち情報

『織司なかむら』のお召し

「御召」の由来をご存知ですか?

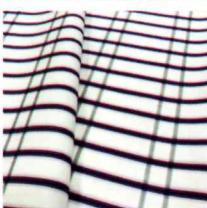
徳川11代將軍徳川家斉が常に好んで着たという「將軍様の御召しもの」。「御召」という呼び方はここから生まれました。とくに他の者が着てはいけない御止め柄(御止縞)まであったといいます。自分だけの着物にしたかったのでしょうか。



御召は糸の段階で精練し、先染めしたのち織り上げた先染織物の代表的なものです。縮緬と違う触感があり、極めて美しい織物。



御召へビーウェーブユーザーは次のようにおっしゃいます。「着付けが楽」「着やせして見える」「やっぱり最後は御召に行きつく」「単衣で一枚持っておくと重宝する」etc...



『織司なかむら』の御召は、よりすっきりシンプルで、現代人のコーデにマッチしたもの。しっかり織られた地合いながら、風合いよく身体になじみ、裾さばきよく、さらりと品格ある着姿にしてくれます。

遠目には紫の単純な縞に見えるが縞の一筋には10色もの糸を織り込んだ変わり縞の紋風通あか抜けた編模様がドレッシーに大人可愛く演出してくれる御召です。

初秋からの単衣として持っておくと重宝する一枚です!

やいきんのやはらぎ

まずは「粋な大人の必需品 桧屋儀兵衛『大島紬』展」。やはり皆様、大島紬が大好き!特に白大島、夏の大島が今年も大人気でした。皆様、お粋!(「いき」に関しては上記コラム参照☆)七夕には「kimono美人になるVol.2」サマーメイクレッスン。今回はリップスティックを自作!夏メイクはいつもの定番カラーから、ちょっと冒険してみたくなるもの。自分の肌色や質に合わせたものをセレクトすればちゃんと馴染んで、美人度UPするんですね!メイクレッスンも目から鱗の連続で、みんな前回より一層「ナチュラルに美しく」なれました。そしてそして、「やはらぎ」しかできない、「祇園祭バスツアー」!大型バスで、京都藤井絹社屋に伺

山の背を喰む彼の月に思い出す

十五の夜とあのときのこと

香月にいな

あの夜も円かつたはず重ね着の

空を眺めて歪む輪郭

深山静

ちょうど山の背のあたりに出た月に、
あの日の十五夜と貴方の背中を思い出している。

いました。社屋内には家宝の屏風やミニチュアの鉢もあって眼福眼福。そしてかぶりつきで山鉾巡業を堪能~☆お弁当も美味しかった☆黒澤桐材店×おはりばこ「下駄ばこ」展では、きものに欠かせない小物たちをご紹介。イケメン職人さんの手元にため息、美人女将のコーデアドバイスに膝打。楽しい時間でした。「おりで広影デザイナーの美の世界 ジュエリーフェア」ではデザイン・質共に最高のジュエリーがお目見え。皆様に喜んでいただけて幸せでした。そしてお盆前には大サマーセール!とことん在庫処分させていただきましたよ!このチャンス逃した方は残念かも…次回お楽しみに!



きものぎゃらりい 和

和歌山県和歌山市七番丁 26-1 ダイワロイネットホテル和歌山 2階
TEL:073-433-3567 <http://kg-yawaragi.com>